



藤野 和美 議員

出生数の減少が深刻。抜本的な対策が必要。

# コロナ禍から町民をどのように守るのが 必要なひとに的確な形で支援していく

子育て支援をどのように

ラベンダー園の  
今後は

か。  
農政課長 暑さに強い品種は残ったので、これらを取り入れ、水はけの良い圃場に改良して、3・6haをラベンダーのエリアにしていく。他の圃場については設立を予定

している観光地域づくり法人と協議し、他の草花等を検討していく。

**問** 新型コロナウイルスの影響が深刻である。約1億7千万円の第2次地方創生臨時交付金をどのように活用して町民の暮らしを守るうとしているのか。

**答** 嵐山町では人口減少が続いており、特に出生数の減少は深刻である。子育て支援を今後どのように進めようとしているのか。

**問** 昨年植えた苗の多くがまたも枯れてしまった。制度設計からやり直すべきでないか。

**答** 農政課長 暑さに強い品種は残ったので、これらを取り入れ、水はけの良い圃場に改良して、3・6haをラベンダーのエリアにしていく。他の圃場については設立を予定

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 今後のことは観光地域づくり法人(DMO)で検討していく。同じことを繰り返さない様にしたい。

**答** 参事兼総務課長 交付金の目的に沿い、町の実情に応じた各種事業をきめ細やかに実施していく。

**答** 町長 「第2期嵐山町子ども・子育て支援事業計画」に基づいて実施していく。

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 危機意識は共有している。財政事情もあるがしっかりと取り組んでいく。今年度の新生児には10万円を給付する。

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 町立幼稚園の3年保育あるいは幼稚園型認定こども園を。教育委員会事務局 長 嵐山町立幼稚園の役割として公立の質の高い幼児教育を推進し円滑な就学につなげることである。25人学級2クラスの2学年。現状の職員数では3年保育を実施することは困難である。今後の入園児数の変動で現状の職員体制で3年保育が実施可能となった場合には取り組むことも必要と考える。

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 今後のことは観光地域づくり法人(DMO)で検討していく。同じことを繰り返さない様にしたい。

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 必要なひとに迅速に的確な形で支援していく。

**再問** 町長の考えは。  
**再答** 町長 危機意識は共有している。財政事情もあるがしっかりと取り組んでいく。今年度の新生児には10万円を給付する。



ラベンダー園の様子=R2.10.20

**問** 空家問題は嵐山町にとって大きな課題である。所有者・管理者の把握はなされているか。  
**答** 環境課長 不明の場合、課税情報等の照会を行い、所有者・管理者の把握に努めている。

## 空家対策について



渋谷登美子 議員

出生率をあげるには、子どもを一番に考えなくては。

# 町立幼稚園3年保育実施を

## 答 出生率が上がった時に考える

歳の3年間の教育と定めている。2年では制度的に欠陥だ。嵐山町には公立の幼児教育機関は他になく、民間保育園がある。障害児等には公立の幼児教育機関が必要であり3年保育は必要。

化で3歳からは半数以上が保育園を希望するだろうし、町立幼稚園は消滅の危機になる。

**再問** 町長 町立幼稚園は評判がいい。民間保育園の定員割れも

考えられる。まず出生率をあげてこどもが増えてから考える。

**再問** 文科科学省は、幼稚園は3歳から5

**再問** 3歳で家庭に子どもたちは町立幼稚園を希望するかもしれないが、2歳の家庭にいる子は46人。幼保無償

年齢	総数	保育園	認定こども園	町外幼稚園	町立幼稚園	家庭
0歳 (H31.4.2~R2.4.1)	73	15				58
1歳 (H30.4.2~H31.4.1)	78	40				38
2歳 (H29.4.2~H30.4.1)	95	49				46
3歳 (H28.4.2~H29.4.1)	101	60	6	10		25
4歳 (H27.4.2~H28.4.1)	125	63	6	12	42	2
5歳 (H26.4.2~H27.4.1)	126	70	2	9	44	1
合計	598	297	14	31	86	170

(R2.9.1) (入所状況)



町立幼稚園で稀少植物サワトラノオを育てています=R2.10.26